

# だから私は、仁愛大学の コミュニケーション学科で 学んでいます。

# COM

前回も好評の  
スーパーボールすくい!



初登場のゲーム、  
「ディスクシューター」!



ファミリーが  
喜んでくれました!

## 「FBCサマーフェスタ2019」の企画・運営に参加しました!

### 企画で人を楽しませる実践! Tシャツ制作ではSDGsを意識。

2019年8月に開催された「FBCサマーフェスタ2019」の企画・運営に、本学科の吉村ゼミ生をはじめとした約30名の学生が参加しました。学生たちは、新学期の初めから4ヶ月間、イベント運営会社との打ち合わせを重ねながら準備を進行。当日は、自分たちで新たに考案したゲームや、和傘に映像を投影するプロジェクションマッピング等で、様々な年代の来場者に楽しんでもらうことができました。

イベントの準備とともに、学生たちは、当日自分たちが着るスタッフTシャツのデザインを手掛けました。最初に、一般的なスタッフTシャツの課題として、イベントで使用された後に着用機会を失ってしまうもったいなさに着目。次に、あるセレクトショップが実施している、他店のショッピングバッグをリメイクする取り組みを参考に、制作方法を決定。廃棄前のTシャツを持ち寄って、学科ロゴマークを好きな位置に転写しました。学生たちにとって、デザインを課題解決の手段として意識する機会になりました。なお、スタッフTシャツの制作は、「持続可能な世界」を実現するために定められた17の国際目標「SDGs」の、12番目「作る責任・つかう責任」と関連した取り組みになりました。



★ 「シルクスクリーン」で  
ロゴを転写!



### アイデアから 実施までの流れを体験。 企画の磨き方に感動!

コミュニケーション学科4年  
宮本祐輝 | 武生東高校出身 |

的を目標けてディスクを飛ばす「ディスクシューター」というゲーム企画の、考案・準備・実施を担当しました。アイデアレベルでは実現困難だった計画を、少しずつ修正しながら、ルール設定や道具の制作、シミュレーションなどを進めブラッシュアップ。改善をくり返すことで、より納得のいくものが作り上げられるのだと学びました。当日は、子どもたちが笑顔で楽しんでくれたので嬉しかったです。

イベント後も着られる  
クオリティ!



コミュニケーション学科 アクション&レポート



2030年に向けて  
世界が合意した  
「持続可能な開発目標」です

3つのコースがそれぞれの切り口で、SDGsにアプローチ。



SDGsとは、2030年に向けて、持続可能な世界を実現するために定められた国際目標です。本学科では、3つのコースがそれぞれの専門領域を活かしたアプローチで、様々なSDGs活動を企画・実践しています。



英語コミュニケーションコース

語学検定試験受験支援

中国語など、英語以外の語学検定試験の受験支援を開始!

従来、TOEIC IPテストや実用英語技能検定(英検)の受験支援を行ってきましたが、2019年度より、英語以外の語学検定試験も対象に含めています。昨年度は中国語検定合格者1名、英検5名、TOEIC(およびTOEIC IPテスト)36名、のべ42名が表彰されました。語学能力の向上は、フロン校国際交流プログラム・語学研修への参加や、個人留学、教員免許の取得など、それぞれの目標に向けたステップアップにつながっています。



2019年度前期授賞式の様子。前後期授賞式合わせて、のべ42名が表彰されました。



企画・マネジメントコース

越前市産そば粉を使用した  
お菓子Soweets(そうい〜つ)

お菓子の企画・開発・販売で、地元の魅力を発信。

2019年11月に開催された、「第6回越前市まるごと食の感謝祭」に、吉村ゼミの3年生4名が参加。地元の魅力発信を目的に、越前市産そば粉を使用したお菓子「Soweets(そうい〜つ)」を発表・販売しました。越前市を中心に活躍するパティシエ・野村美玲氏の指導のもと、越前市農政課の協力を受けながら、夏休み期間中に試作を重ねて開発を進めました。100個ずつ準備をしたシフォンケーキ、フィナンシェは大好評!約1時間で完売する結果になりました。



「第6回越前市まるごと食の感謝祭」の「100円グルメコーナー」に参加。「Soweets(そうい〜つ)」はイベント後も学内外で販売されました。



情報社会コース

福井県警察サイバー防犯ボランティア「Psybernic」として活動

情報格差などの解決を目指し、啓発本の制作に参加。

安彦ゼミが参加する福井県警察サイバー防犯ボランティア「Psybernic」が、サイバー防犯の啓発本「NET WALKER 2020 危険がいっぱい!情報化社会を歩く。」を制作・刊行。35のテーマにあわせて学生たちがイラストを描き、ディスカッションとブラッシュアップを経て完成へ。学生たちは、「若い人はもちろん、インターネットを利用する全ての人に学んでほしい」と振り返りました。



刊行記者会見の様子。本学科の安彦ゼミの他に、福井大学、仁愛女子短期大学、福井工業大学が参加しました。

高齢者を対象に、ソーシャルメディアへの理解をサポート。

2019年9月、安彦ゼミが参加する「Psybernic」のメンバー6人が、福井県主催の「情報モラルセミナー」に参加し、ワークショップを実施しました。普段ソーシャルメディアを使うことの少ない高齢者の方に基礎知識をつけてもらう本セミナーで、学生はファシリテーターを担当。質問の回答や補足をしながらグループワークを進行しました。



受講生の皆様からは、「アシスタントの学生さんに質問することができ、より理解が深まった」など、感謝の声をいただきました。



コミュニケーション学科 3つのコースと「身に付く力」

企画・マネジメントコース

「構想・実行力」課題解決のプランを構想し、実践できる人を育成します。

英語コミュニケーションコース

「実践的英語力」実践的英語力を身に付け、国際感覚豊かな人を育成します。

情報社会コース

「情報活用力」情報を活用し、地域の文化を創造できる人を育成します。

コミュニケーション学科で取得可能な

免許&資格

- 中学校教諭一種免許状(英語)
- 高等学校教諭一種免許状(英語)
- ITパスポート ●社会調査士
- 社会福祉主事(任用資格) ●TOEIC®